庭木・植木の 剪定の基礎

大切な庭木の美しい姿をいつまでも楽しむために、剪定などのお手入れは欠かせません。日当たりや風通しをよくして病 気や害虫に対する抵抗力をつけ、また新しい芽を吹かせることで木を若返らせながら樹形を維持することができます。こ こでは用意しておきたい基本的な道具類をご紹介します。

剪定用ハサミ 小枝~太枝に



●大久保バサミ

庭木・植木の手入れ用として一般 的によく使われている、日本古来 のハサミです。小枝から太さが 10mm以下の枝の剪定まで、これ 1本で使え、比較的丈夫です。使用 目的により刃渡り、刃型、刃の厚

さ、柄の長さや型が異なり、さまざまな種類があります。



●剪定バサミ

フランスより明治期に輸入され、 日本人の手に合うよう改良されて 広く普及したハサミです。受刃の構 造が三日月型になっていて、切刃 の交差により枝を切ります。非常 に切れ味がよく、庭木や草花の切り

込み用から果樹の枝おろしまでだいたい太さ12mm以下の 枝まで使えます。初心者にも使いやすいハサミです。

生け垣に 刈り込みバサミ・ヘッジトリマー

刈り込みバサミは垣根や庭木の刈り込 みに一般的に使われるハサミです。芝 生の手入れや刈り込み、および植木の 刈り込みの両方に使える兼用刈り込み バサミもあります。初心者の家庭園芸



向きには、軽くて使いやすく、手入れが簡単なアルミ柄の刈 り込みタイプのハサミがいいでしょう。

ヘッジトリマーは、バリカンのような刃をもった生垣や植木 刈り込み用の電動工具です。普通の刈り込みバサミの用途 をそのまま電動にしたものと考えることができます。作業量 は手作業の約7倍の能力。軽量で使いやすいので、女性でも 十分使いこなせます。

ヘッジトリマ使用後のお手入れ

※使用後はよく布で拭いてヤニなどを取り除き、刃全体やに油(ミシン油やてんぷら油など)を塗って、湿気の少ないところに保管してサビを防ぐように

高枝切りバサ

高い枝を切るための高枝切りバサミは、手元でハサミの開閉

や角度などを調節することができて便 利。先端に剪定バサミや剪定ノコ、果樹 や花の採集用のつかむ機能のあるハサ ミがついているものなどいろいろなタイ プがあります。 操作する手元はハンドル のものとひもを引っ張って操作するもの があります。作業中疲れないことが大切 ですからできるだけ軽いものがよいで しょう。径1.5~2cmくらいまでの枝を 切ることができます。また、正確に切る 枝の位置をとらえられないので、細かい 手入れを行うには向きません。



【ハサミの正しい使い方】

切れないハサミで花や木を切ると、花木を傷めるだけではなく、寿命も縮めてしま います。ハサミはいつも最高の切れ味で使えるようにしましょう。

- ①新しいハサミを使う時は、ならし期間として最初の1ヵ月くらいは太い枝や硬いも のを切るなどの無理な扱いは避けてください。また用途に応じた形や仕上げにな っているので、そのハサミの用途以外の使い方はしないようにしてください。特に クギや針金などの金属は切らないようにしてください。
- ②枝は刃の先でなく根元で切るようにしてください。

- ③くわえた枝が一気に切れないからと、左右にねじってはいけません。刃こぼれの原 因になります
- ④サビは最大の敵ですから、使用後はよく布で拭いてヤニなどを取り除き、刃全体や カシメ部分に油(ミシン油やてんぷら油など)を塗って、湿気の少ないところに保 管してください。
- ⑤刃の開閉が悪い時はカシメ部分に油を1~2滴たらし、刃の開閉を試してくださ い。まだよくなければカナヅチを下にしてカシメ部分を軽くカナヅチの上で叩い てください。開閉がらくになります。

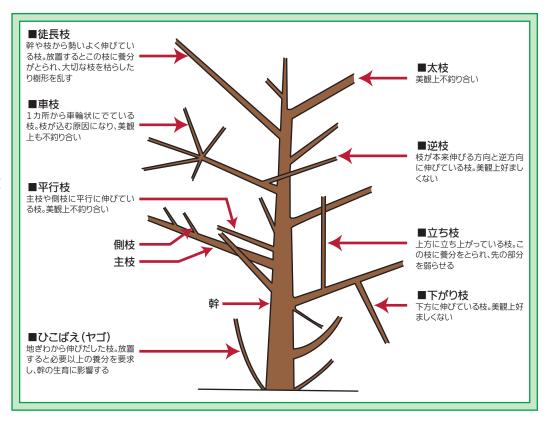
剪定を行う時は、まず木全体の姿を眺め、枯れ枝や病気の枝、大きな傷のある枝は取り去り、樹形を乱している枝や正常な生育を妨げている枝は、不要枝なので剪定します。樹種によって適期や仕立て方は異なりますが、どの樹木も無理のない形に仕立てましょう。

不要枝の剪定

右図のような枝は樹木の見た目の美しさを損なったり、 成長を妨げたりします。このような枝を目安に剪定・整枝を行います。

常緑樹は春、新芽がのびる前に剪定を行います。ツバキやツツジなど、春に咲く花木は花が咲き終わってから剪定、整枝を行うようにします。秋は、花が咲き終わり次第行いますが、春よりは軽く行います。特に春に花が咲く花木はすでに花芽が付きつつある時期なので枝先は切らないように気をつけましょう。

落葉樹は葉が落ちて枝の様子がよく分かる冬に剪定、整枝を行うようにします。この時期は太い枝を切っても生長に与える影響も少なくてすみます。



園芸用刃物のお手入れ



剪定に使う刃物はよく研いでおくと長持ちし、作業効率も高まります。しかし、よく研がれていないハサミで切ると、切り口がつぶれたり割れたりして、そこから細菌やウイルスが侵入する原因ともなります。 刃先を鋭利な状態に保つことは、樹木のためにも必要です。

園芸用ハサミやカマ、刈払機の刃研ぎとして、水なしで、簡単に早く研げる**ダイヤ砥石**があります。「荒

目」で荒研ぎの後、「細目」で仕上げ研ぎをします。研ぐものを、台の上で固定し、元の刃付の角度に合わせて15~20度位の角度をつけて研ぎましょう。剪定などの作業中でもその場で研げるので便利です。

※緑の文字は、アヤハディオで取り扱っている商品です。

※掲載商品は予告なく変更する場合がございます。 禁複製

